

**Our people are
the difference**

KEARNEY

日本代表からのメッセージ

Kearney日本オフィスは、創業以来100年を超える経験と知見を礎に、日本企業の可能性を解き放ち、共に新たな価値を創造することをミッションとしています。その志は、“Essential Rightness”（本質的な正しさ）という言葉で表現されるA.T. カーニーという会社の根底に流れる価値観であり、私自身もそれを受け継ぎ、さらに前へ進めていく責任があると感じています。

コンサルティング業界はAIの進展を背景に、かつてない変化の時代を迎えています。そのような環境においても、私たちが変えないのは、「問いを立て、経営意思決定を促し、現場を動かす」というコンサルタントとしての本質的な役割です。戦略を描くだけでなく、クライアントに寄り添い、ともに責任を分かち合いながら、組織に変革のモメンタムをつくることこそが、AIにはできない人間としての価値だと考えています。

Kearneyで求められるのは、深い専門性と経営視点を備えた「強い個」であること、そして業界や国境を越えたコラボレーションを通じて、新たな価値を生み出す力です。人口減少や産業構造の転換が進む日本において、企業が新たな事業を創造し、世界へ挑戦していくためには、従来の延長線上にはない発想が必要です。だからこそ、私たちは、クロスインダストリーの知見を掛け合わせ、一人ひとり異なる個性や強みを持つ多様な仲間とともに、より大きなインパクトを生み出すことを重視しています。

Kearneyをキャリアの可能性を広げる舞台として、高い志と専門性を持ち、ともに創造と変革に挑む仲間へ

また、成長において重要なのは、出発点よりも「成長角度」です。知識やスキルはAIが瞬時に学習する時代だからこそ、大切なのは自ら考え、対話を通じて本質を掴み、それを行動に落とし込み続ける力です。人との対話やディスカッションを通じて学びを血肉にし、積み重ねていくことが、コンサルタントとしての確かな成長につながります。AIを単なる効率化のツールとしてではなく、新たな発見と発想を生む力として使いこなし、自らのリテラシーを高め続ける姿勢もまた、これからの時代に求められる資質です。

Kearneyには、出向や留学、海外オフィスへのトランスファーなど、志の高い人材が挑戦できる環境が整っています。Kearneyを自らのキャリアの可能性を広げる舞台として、「日本を変える、世界が変わる」という志をともに実現できる方々と、新たな未来を切り拓いていけることを楽しみにしています。



針ヶ谷 武文

日本代表 マネージングディレクター・ジャパン シニアパートナー
東京大学教養学部卒業。大手通信会社にて営業企画・事業企画・サービス開発に従事した後、A.T. カーニー入社。通信・ハイテク・メディア企業を中心に、20年以上にわたりコンサルティングに従事。

グローバル
ネットワーク

世界**40**か国以上

コンサルタント・
スタッフ

5,900名以上

協業クライアント

Fortune Global 500に
名を連ねる

75%の企業

政府機関および
非営利組織



About Kearney

A.T. カーニー (グローバル・ブランド名: Kearney) は、100年にわたり世界有数の経営コンサルティングファームとして、Fortune Global 500企業の4分の3以上をはじめ、世界各国の政府機関に信頼されるパートナーであり続けてきました。

40カ国以上に拠点を展開し、私たちの最大の強みは「人」にあります。インパクト・ファーストを掲げ、独創的な発想と実行力をもって、顧客企業が直面する最も困難な課題に挑み、変革の実現とともに推進します。

日本には1972年に進出し、あらゆる主要産業のリーディングカンパニーに対し、戦略策定から変革の実行まで一貫した支援を提供しています。詳しくはWebサイトをご覧ください。

<https://www.jp.kearney.com/>

KEARNEY

Kearneyの 主要コンサルティング領域

Kearneyでは、グローバルに組織された「プラクティス」と呼ばれる業種・機能別の専門グループを持ち、各グループのメンバーが国内・海外横断で当該領域の知見や最新情報を共有し、顧客企業に対する高い価値提供に努めています。(プラクティスにはパートナー、プリンシパル、マネージャー以上のコンサルタントが所属しています)

実際のプロジェクトでは、業界別プラクティスと機能別プラクティスが連携を取りながらプロジェクト成果の最大化に取り組んでいます。

業界プラクティス

- 宇宙・航空・防衛
- 自動車・モビリティ
- 化学
- 通信、メディア&テクノロジー
- 消費財・流通小売
- エネルギー
- 金融機関
- ヘルスケア
- 産業機械
- プライベートエクイティ
- 公共部門
- 交通・輸送
- 鉱山・金属

サービスプラクティス

- アナリティクス
- デジタル
- リーダーシップ・組織改革
- M&A
- オペレーション・パフォーマンス
- 調達
- サステナビリティ
- PERLab

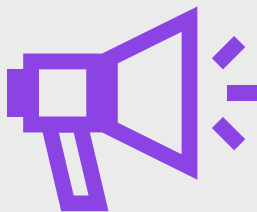
クライアントの声

Kearneyは、知見を共有すると共に、様々なステークホルダーと深い関係を構築し、アイデアを生み出してくれた。彼らは、私たちに非常に親身となり、献身的に取り組んでくれた。

— 中東

10年以上、数十のプロジェクトにおけるKearneyの“尖った個”からなるベストチームのサポートなしには、事業の飛躍的な成長、及び、自社の人材育成の加速は達成できなかったことは間違いない。“Trusted Advisor”として、これからの支援にも期待している。

— 日本



Impact First: 不確実性の時代における変革の ナビゲーション

地政学的激動、テクノロジーの激変、経済の不安定さが日常の一部となり、かつてないほど急速に変化する世界において、ビジネスには単なる戦略以上のものが求められています。断固たる行動、そして「インパクト」が求められているのです。

当社は、変化について語るだけではなく、実際に行動に移します。お客様と共に、不確実性を脅威から機会へと変革していきます。「Impact First」とは、従来のコンサルティングの枠を超えた、組織変革に関する画期的な考え方です。

戦略を超えて：行動する勇氣

多くの企業や組織はすでに戦略的プランニングに精通しています。長いプレゼンテーション、複雑なフレームワーク、果てしない議論。しかし、今日の目まぐるしく変化するビジネス環境において、こうしたアプローチは時代遅れになりつつあります。リーダーが本当に必要としているのは、完璧な計画ではなく、目的意識を持った決断力のある行動が重要であることを理解している伴走者です。

「Impact First」は、野心的な戦略と実行可能な変革のあいだの溝を埋めることを目指しています。これは、絶え間なく混乱の続く世界において、迅速かつ賢く、そして協調的に行動する能力こそが究極の競争優位性であることを認識した考え方です。

当社のインパクトネットワーク

Kearneyグループを横断して組成されたチームやシンクタンク、子会社のご紹介

Kearney Foresight

カーニー・フォーサイトは、変化を予測し、新たな機会を見出し、自信を持ってリーダーシップを発揮するために必要な独自の洞察と画期的な情報を提供します。

- **グローバル・ビジネス・ポリシー・カウンシル (GBPC)** 地政学的、経済的、社会的、技術的な変化に関する戦略的な洞察を提供し、官民双方の経営陣にとって明確性、影響力、そして持続的な優位性を得るための指針を示します。
- **Energy Transition Institute** エネルギー転換とテクノロジーの世界的シフトに関する画期的な情報を提供する非営利団体です。
- **National Transformations Institute** 官民双方の経営陣にとって、世界各地で進行中の多様な変革を予測し取り組めるよう支援します。
- **Consumer Institute** 最先端の消費者調査を提供し、企業が顧客の視点から最も差し迫った経営課題を解決できるよう支援します。
- **Supply Chain Institute** オペレーションを最適化し、サプライチェーンを変革するための最新の洞察、ベンチマーク調査など業界をリードする研究を提供します。
- **Advanced Mobility Institute** よりアクセスしやすく、持続可能で、効率的な、エコシステム全体を強化する画期的なモビリティソリューションを推進します。
- **Center for a Sustainable Future** 官民双方のリーダーが持続可能な未来への願望を達成できるよう支援する専門アドバイザー・チームです。

Kearney Innovate

カーニー・イノベートは、ビジネスの可能性を再定義し、大胆なアイデアを加速させ、変革的な成長を促進し、お客様にとっての顧客に喜ばれる体験を創造します。

- **PERLab** 「製品」をより良いものにするため、デザインからユーザーエクスペリエンスまで、お客様にとって最も重要な点に焦点を当て、製品ポートフォリオを変革します。
- **TEAMS** 先駆的なデザインビジョンと技術的専門知識、そしてグローバルなチームワークを組み合わせることで、製品の限界を押し広げ、ビジネス価値を再定義します。
- **Ignite** 顧客価値の新たな源泉を創造する専門家であるビジョナリー、ビルダー、オペレーターによって構成されるグローバル・チームです。
- **Silicon Foundry** ディスrupter、テクノロジー・リーダー、投資家からなる、世界有数のイノベーション・エコシステムと企業をつなぐ役割を担っています。
- **IMP³ROVE** 専門家によるベンチマーキング、トレーニング、コンサルティングサービスにより、イノベーションを管理しやすく、競争上の優位性を確立し、インパクトを最大化します。

Kearney Activate

カーニー・アクティベートは、テクノロジーを通じてビジネス価値を提供します。共に、持続的なインパクトを創出し、有効に機能するシステムとソリューションを構築し、それらを維持するためのチームを強化します。

- **Prokura** (プロキュラ) グローバル調達とサプライチェーンに特化した専門家集団です。2025年4月に日本拠点を開設。
- **Operations Systems** オペレーションの専門家とソリューション・ビルダーで構成されるグローバル・チームです。実行と価値提供を重視し、オペレーションのバリュー・チェーン全体にわたって真のインパクトを提供します。
- **Digital and Analytics** 前例のないデジタル・ディスラプションの時代に、戦略的テクノロジーを通じてビジネス価値を提供します。
- **MSE** 戦略実行、組織変革、人的資本管理、さらに野心的なビジョンを測定可能で持続可能なパフォーマンスと有意義な影響力に変えるオペレーション・エクセレンスを支援します。



Kearneyのプロジェクト事例

Kearneyでは、経営トップ・アジェンダに対して、様々な解決策を提供しています。経営アドバイザーとして「顧客企業の根本課題」、さらに「産業全体・社会の課題」にアプローチします。

プロジェクト・テーマ (一例)



キャリアパス

Kearneyでは、多様なキャリアパスを歩む「強い個」「経営を語れる個」「尖った個」との対話・刺激を得て、個々人がパッションを持ち、独自のキャリアパスを構築することを支援します。

ビジネスアナリスト / シニアビジネスアナリスト

- ー 世界最高水準のプロフェッショナルリズム、感動品質・世界水準の仕事に求められるホンモノの基礎能力の高さの理解と習得に向けた「自発的な行動」が求められます
- ー 多種多様なインプット、多種多様な定性・定量分析のプロセス、多種多様な形式でのアウトプットの「圧倒的なスピードと正確性の両立」を実現します
- ー クライアント企業にとっての「Something Newの発見」を通じた付加価値の提供、及び、付加価値の提供方法を多様化していくことが期待されます

アソシエイト

- ー 現状・問題の把握、本質的な課題の設定、課題解決策の特定、解決策の実行に関わるホンモノの基礎能力を有する高度プロフェッショナル＝「強い個」であることが求められます
- ー 小規模のプロジェクトの全体や大規模のプロジェクトのモジュールの責任者として、マネージャー以上のサポートの下で、「クライアント企業の期待値以上の成果物」を提供します
- ー その結果として、クライアント企業の皆さんの「心の底からの納得」を引き出し、「目に見える成果の創出に向けたモメンタム」を生み出すことが期待されます

マネージャー

- ー アソシエイトをはじめとするプロジェクトメンバーの強み・弱みや個性を理解した上で、メンバーの「潜在能力を最大限に引き出すコーチング能力」の習得・実践が求められます
- ー プロジェクトの現場責任者として、クライアント企業の経営陣やプロジェクト責任者に対して、重要論点を考え抜いた末の「スタンス」を取り、確信を持って主張・提言します
- ー 多岐に亘る分野の知識・教養を蓄積し、「ホンモノの基礎能力の向上」に努めるとともに、特定業界・クライアント・テーマの専門性を有する「T字型人材」であることが期待されます

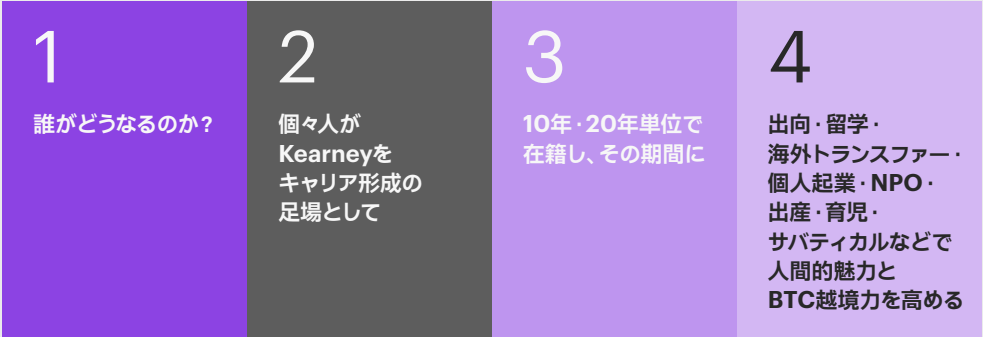
プリンシパル

- ー 業界軸やテーマ軸などでのビジネス (B) 領域の高い専門性を土台に、テクノロジー (T) やクリエイティブ (C) 領域の専門性も蓄積し、「π字型人材」であることが求められます
- ー 国内外・社内外の「経営を語れる個」や「尖った個」とのネットワークを構築し、「感動品質・世界水準」の成果物を生み出し、クライアント企業と長く深い関係を構築します
- ー クライアント企業との事業創造と変革に向けて、心から一緒に仕事をしたいと思ってくれる仲間からなる「ナチュラルチーム」を段階的に構築することが期待されます

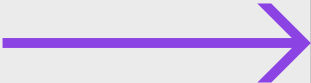
パートナー

- ー クライアント企業のCEOをはじめとした経営陣にとっての「Trusted Advisor」(信頼される相談相手) であり続け、「BTC人材」となることを理想として、追求します
- ー その結果、クライアント企業や社会の未来を形作るリーダーの方々にとっての「The most admired firm」(最も評価され、信頼されるコンサルティング会社) を築きます
- ー クライアント企業との事業創造と変革、グローバル・日本の社会課題の解決を通じて、より良い未来を形作ること、『日本を変える、世界が変わる』の実現への貢献が期待されます

Our strategy



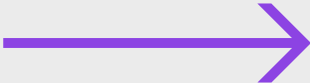
個々人が“強い個”へ



世界最高水準の
プロフェッショナリズム

- パートナーによるプロフェッショナリズムの率先垂範・言語化・浸透
- 他社と明らかに異なるホンモノの基礎能力
- 感動品質・世界水準の仕事をを目指すプロフェッショナリズムがコアコンピタンス

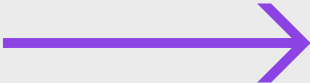
“経営を語れる個”へ



特定業界・クライアント・
テーマへコミットする個

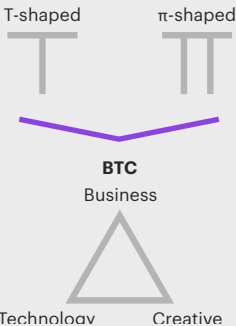
- どのような業界・テーマでも“経営を語れる個”は限られるのが真実
- 時代の変化を捉え、専門性を開発し続ける“T字型”人材化は必須
- “経営を語れる個”への多様な道・多軸評価の当たり前化

“尖った個”へ



コアコンピタンスを
B領域としたBTC人材

- Kearneyのコンサルタントのコアコンピタンスはビジネス (B) 領域
- テクノロジー (T) 領域やクリエイティブ (C) 領域の専門性も必須
- 異なる業界・クライアント企業・テーマに挑戦し、“π(パイ) 字型”人材へ
- その先のBTC人材へ



各自の成長や 多様な働き方を支援する制度

Kearney日本オフィスでは、在籍するコンサルタントが、“尖った個”へ、創造と変革のリーダーへと成長し、クライアント企業、及び、日本社会に貢献することを目指しています。そのため、各コンサルタントが成長するために必要なトレーニング、留学、出向、海外オフィスへの転籍、NPO設立による兼業などの成長機会への投資を惜しみません。また、各コンサルタントが、それぞれのライフイベントやライフスタイルに合わせた働き方を実現し、持続的なキャリアを形成するための支援制度も提供しています。

トレーニング (国内・海外)

- 入社時集中トレーニング
- 昇進時トレーニング
- スキル別トレーニング
- プロジェクトマネジメントトレーニング
- ナレッジ・シェアリング・プログラム
- オンライン・トレーニング・プログラム

キャリア開発支援制度

- チームアップ制度 (プロジェクト公募制度)
- メンター制度
- グローバルプラクティス・アフィリエイトメンバー制度
- MBA留学・テクノロジー留学・クリエイティブ留学支援制度
- 海外オフィスへの転籍制度
- 官公庁・大企業・ファンド・ベンチャーへの出向制度

多様な働き方を支援する制度

- 出産・育児休暇制度
- 時短勤務・時差出勤制度
- リモートワーク制度
- 兼業・副業制度
- サバティカル制度

制度利用者コメント

マネージャー

30代男性

私は男性ですが、子供が生まれて半年間の育児休暇を取得しました。長期間の休暇申請だったのですが、当時の東京オフィス代表からは「家族のためにも、ぜひ取得してください」とおっしゃっていただけたため、負い目を感じることなく取得できました。休暇後も、チームメンバーにフォローいただきながらスムーズに仕事に復帰出来ており、育児休暇のような制度への理解が根付いている文化だと感じます。

マネージャー

30代女性

私は産後に加え、産前の6週もフルで休業しました。産休前もチーム構成などプロジェクト環境は考慮されており、出産ギリギリまで働ける状況でしたが、せっかくなのでこれからの準備や夫との時間などプライベートを優先しました。育休もフルで取得したため、復帰の際は1年超のブランクに不安もありましたが、1ヶ月の時短勤務を挟むことでソフトに通常勤務に戻れました。子供が小さい間は9時-18時でメリハリをつけ勤務を続ける予定です。

アソシエイト

20代女性

MBA Scholar Programを利用して、昨年夏からLondon Business SchoolにMBA留学しています。様々な経験を持つクラスメイトや教授との交流を通じて、貴重な時間を過ごすことができています。留学前にも、受験に合わせてプロジェクトのワークフローを調整できたり、受験準備のための休職が可能であったりと、全面的に留学を応援してもらえる環境があるのはKearneyならではだと思います。

コンサルタント紹介

社内MBA留学制度を利用し、米国コロンビア大学でMBAを取得後、
現在は東京オフィスに勤務

MBA留学を選んだきっかけ

両親が外国出身で幼少期を中国・米国で過ごした私は、「どの国で暮らし、働くか」に自然と関心を持っていました。Kearney入社後は東京を拠点に海外案件に携わる中で、海外で長期的に学び生活する思いが強まりました。メンターや先輩の後押しもあり、キャリア中断の不安を超えて「今しかできない挑戦」を決意しました。

コロンビア大学での学び

ニューヨークという街と出会う人々の多様性に惹かれて進学。会計・戦略などの基礎に加え、ベンチャーキャピタルやスタートアップ関連を中心に履修しました。経営者による実践的授業や同級生の起業支援を通じ、挑戦する姿勢を学びました。特に「自分は積極的だと思っていたが、リスクを避けていた」と気づけたことが大きな転機でした。

印象に残った経験

ニューヨークでのスタートアップ・VCインターンに加え、ザンビアで女性中心の農業組合を支援するNPO活動に参加。限られた環境で成果を求められる中、スピード感と胆力を鍛えました。また、ロンドン・ビジネス・スクールへの交換留学では新たな街と人との出会いに刺激を受けました。

浜田 源 (はまだ・みな)

マネージャー

東京大学法学部卒業後、2019年に新卒でKearneyに入社。ヘルスケアや消費財領域での新規事業戦略を中心にプロジェクトを担当。2023年夏より社内のMBA留学プログラムを利用して米国コロンビア大学に留学し、交換留学でロンドン・ビジネス・スクールにも在籍。2025年にMBAを修了し、日本オフィスへ復職。現在は再びコンサルティングの現場で活躍している。

留学生活で学んだこと

物価の高いニューヨークでは寮生活を送り、文化を共有しながら他人と暮らす貴重な経験を得ました。最も苦労したのは、授業・イベント・ネットワーキングが多すぎて生じる“FOMO (取り残される不安) ”。何を選び、何を諦めるかという判断力の重要性を学びました。

今後のキャリア

MBAを通じ、グローバル企業からスタートアップまで多様な経営者と議論し、長期的にクライアントに寄り添う視座を得ました。今後は多様なチームを率いて日本企業のグローバル成長を支えるリーダーを目指します。仕事に加え、アートやジャーナリズムなど個人の関心にも挑戦し、「人生を豊かにする働き方」を追求したいと考えています。MBAはキャリアだけでなく人生を深める時間。挑戦した2年間は確実に人生を豊かにしてくれました。Kearneyにはその挑戦を後押しする環境があります。ぜひ自分の可能性を広げてほしいと思います。



コンサルタント紹介

社内トランスファー制度を利用し、ニューヨーク、ロンドンを経て
現在は東京オフィスに勤務

これまでのキャリアについて教えてください

アメリカ郊外で育ち、大学では野球部に所属。卒業後は航空宇宙業界でエンジニアとして飛行機搭載ロボットの設計に携わりました。より広い世界を知りたいと考え、中国語を学ぶため中国へ渡り、農村部の中学校で英語を教える貴重な経験を得ました。その後、コロンビア大学でMBAと国際関係を学び、日本にも留学しました。

Kearney入社に至った経緯を教えてください

Kearneyを選んだのは、自分の情熱を追求できる自由と多様なチャレンジの場があると感じたからです。ニューヨークでコンサルティングを始め、ロンドンではスタートアップ支援プログラムを立ち上げ、社会的企業へのプロボノ支援にも取り組みました。こうした経験を通じ、クライアントに価値を届けながら自分も成長できる場がKearneyにはあると実感しました。Kearneyは、クライアントに最高のケイパビリティを提供できる規模を持ちながら、家族のような温かさのある会社です。同僚たちの起業家的な文化や実践的な姿勢も魅力です。

Kearneyで働く上でのやりがいや喜びは何ですか？

私にとっての喜びは「意外なつながりを見つけること」です。多様な経験や視点が交わる場所から新しい発想や大きなアイデアが生まれると信じています。コンサルタントの仕事はまさにそのつながりを生み出す場であり、東京オフィスでの仕事に大きなやりがいを感じています。

現在の東京オフィスでの役割について教えてください

クロスボーダー成長やグローバル展開を目指すクライアントを中心に支援しています。東京オフィスに所属する数少ない外国人シニアコンサルタントの一人として、その立場を強みにしたいと考えています。日本語や文化の理解を深め、独自の視点でクライアントに貢献することが私の価値です。また、至善館大学で非常勤教授を務め、次世代リーダー育成にも取り組んでいます。

Kearneyを志望される方々へのメッセージ

世界には多様な知見と価値観があり、それを融合させることで新しい発想が生まれます。自分の情熱を大切にし、それを仕事に結びつけることで、心からやりがいを感じられる瞬間が訪れるはずです。Kearneyは、その挑戦を全力で応援してくれる場所です。

ジェフ・ヴォリンスキ

パートナー

米国出身。タフツ大学卒業、コロンビア大学で経営学修士(MBA)と国際関係論修士(MIA)、東京大学で公共政策修士(MPP)修了。東京を拠点に、南北アメリカ、欧州、中近東アフリカ地域、アジア太平洋地域のヘルスケア、消費財、ハイテク業界における国際的な企業の発展と変革を支援。母語である英語のほか、中国語と日本語が堪能。





For 100 years, Kearney has been a leading management consulting firm and trusted partner to three-quarters of the Fortune Global 500 and governments around the world. With a presence across more than 40 countries, our people make us who we are. We work impact first, tackling your toughest challenges with original thinking and a commitment to making change happen together. By your side, we deliver—value, results, impact.

kearney.com

本稿の転載、引用等につきましてはJapan.PR@Kearney.comまでお問合せください。

A.T. Kearney Korea LLCは大韓民国においてKearneyの名のもと業務を行っている別法人です。A.T. Kearneyはインド共和国においては、英国法に基づいて設立された法人組織A.T. Kearney Limitedの支店として業務を行っています。

© 2026, Kearney, Inc. All rights reserved.

